

みんなにできること

第4学年 道徳指導略案

1. 主 題 自分にできること 思いやり B- (7)
2. 資 料 名 みんなにできること (『いじめを許さない人権教育教材』小学校高学年)
3. ね ら い いじめにつながる身のまわりの変化に気づくとともに、いじめの未然防止や解消に向けて主体的に取り組もうとする態度を身につける。
4. 人権教育の内容 差別と人権問題についての学習 2- (2) -ア
5. 展 開

学習活動	主な発問と予想される反応	指導上の留意点
1. イラストから「いじめにつながる」と思うことを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 掲示物が破られている。 ・ 転んだ子を指差して笑っている。 ・ 一つの机だけ離されている。 ・ 黒板に落書きがある。 ・ 1人でぼつんといる子がいる。 ・ こそこそ話をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ イラストの中からおかしいと思われることを話し合い、これらがいじめにつながることを捉えさせる。

こんなとき、あなたには何ができるでしょう。

2. 事例1について自分にできることを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「わらったらあかんで。」と注意する。 ・ 止めに入る。 ・ 「大丈夫？」と声をかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手のつらい気持ちを感じ取りいじめの解消に向けた対処法について考えさせる。 ・ 個人批判をしないように気をつけさせる。
3. 事例2・事例3・事例4について自分にできることを考える	<ul style="list-style-type: none"> ・ 注意する。 ・ 先生に伝える ・ やさしく声をかける。 ・ 一緒に遊ぼうと誘う。 ・ 落書きを消す。 ・ 破れたところを直す。 ・ 机を元に戻す。 ・ みんなに尋ねる。 ・ クラスのルールをきめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉の暴力や身体への暴力、心の暴力等、いじめには様々な態様があることを捉えさせる。 ・ 周りの人の言動が、いじめを許さない大きな役割を果たすことを理解させる。
4. いじめのない学級づくりのために、どんなことに取り組めばよいかを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 声をかけあう。 ・ クラスで話し合う。 ・ 気づいた時は、放っておかない。 ・ みんなの様子をみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 互いに違いを認め合い、支えあい、助け合う仲間作りが必要であることを捉えさせる。 ・ 人権の学習について、保護者にも発信することで、人権課題を一緒に考えてもらう機会をつくる。